

令和4年度 海老名高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての倫理意識の向上を目指し、事故を未然に防止する。	○令和5年2月に行政課作成の資料を活用して、職員会議において法令順守意識を高めるとともに情報の共有に努めた。【担当：進路支援G】
職場のハラスメント（パワハラ・セクハラ、マタハラ等）の防止	パワハラ、セクハラをはじめとする職場のハラスメントの問題について理解を深め、未然に防止する。	○令和4年12月に行政課作成の資料を活用して、職員会議においてハラスメントの自己点検を行い、人権意識の向上に努めた。【担当：広報G】
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	○セクハラアンケートを実施し、実態を把握した。 ○令和4年4月に資料を活用した研修を行い、自己の行為を見直す機会となった。【担当：校長】
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重した指導により未然に防止する。	○体罰アンケートを実施し、実態を把握した。 ○令和4年7月に資料を活用した研修を実施し、指導方法の点検を実施した。【担当：生徒会G】
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	入学者選抜に係る事故ゼロを目指す。 成績処理業務に係る事故を未然に防止する。 調査書作成等進路業務に係る事故を未然に防止する。 書類の発行手続き及び出願までの作業についてすべての職員で事故防止に当たる。	○令和4年6月資料を活用して研修を行い定期試験・成績処理に関する意識を点検した。【担当：学習支援G】 ○令和4年7月、調査書一斉点検を実施し、記載内容を確認した。【担当：進路支援G】 ○令和5年1月に資料を活用して研修を実施し、業務に対する点検と意識の向上を図った。【担当：学習支援G】 ○入選マニュアルを確実に読み合わせ、入選業務を理解する機会を設けた。【担当：入選委員会】 ○学期末の成績処理に関するマニュアルを作成し、成績処理に係るミスをなくした。（7月、9月、3月）【担当：学習支援G】
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	情報の管理方法を確認し、個人情報の流失を未然に防止する。	○令和4年5月に個人情報保護に関する資料を活用した研修を行い、個人情報に関する意識の向上を図った。【担当：広報G】
交通事故防止・酒酔い、酒気帯び運転の防止、交通法規の遵守	交通事故の発生、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。	○令和4年11月に啓発資料を活用して点検を実施し、飲酒運転が絶対にあってはならないという意識を醸成した。【担当：生徒会G】

人権や生徒への影響を配慮した生徒指導	生徒指導、教育相談などで人権に配慮した対応をする。	○令和4年9月に生徒の人権に関する資料を活用し、職員自身の行動を点検し、改めて人権尊重の意識を向上させた。【担当：生活支援G】
会計事務等の適正執行の確保	会計の処理において適正な執行を行わない職員をゼロとする。	○令和4年10月に研修資料を活用し、私費会計に関する知識を点検し、会計に関する意識を高めた。【担当：学校管理G】 ○令和4年12月職員会議において財務事務調査指導の結果を共有した。【担当：副校長】

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

今年度も機会を逃さず不祥事防止の喚起や計画的な職員研修を通して、全職員に対して事故・不祥事防止について意識の啓発を行ってきた。不祥事防止研修は計画的に実施できたと評価できる。特に若手の教員が自分事としてとらえられるよう主体的に取り組ませた。事故・不祥事は気を緩めたことを綻びとして発生し、些細なことが、いつの間にか取り返しのつかない事態へ発展してしまうものである。来年度以降も不祥事の原因となる要因が発生しないように、繰り返し職員の意識の向上を喚起することが必要と考える。来年度も継続的に不祥事防止の取組を進めることが課題である。